

西澤 俊理

百枝 優

ポーンパット・シリクルラタナ

eghub

# アジアの 若手建築家は 何を考えているか



芸術工学 50 周年記念事業

環境設計グローバル・ハブ／渾沌会 協力企画

2018 年 6 月 2 日 15:30-17:30 入場無料・予約不要

於・九州大学大橋キャンパス 2 号館 2 階ギャラリー



「新たな価値創造  
芸術工学のある暮らし。」  
2018 年、芸術工学 50 周年記念事業

芸術工学 50 周年記念事業

## 福岡・バンコク・ホーチミン

# アジアの若手建築家は何を考えているか

2018年6月2日 15時30分 - 17時30分

於・九州大学大橋キャンパス 2号館 2階ギャラリー 入場無料・予約不要

登壇者：西澤 俊理、百枝 優、ポーンパット・シリクルラタナ 司会：岩元 真明（九州大学助教）

福岡・バンコク・ホーチミンで活躍する3人の気鋭の若手建築家を招き、公開レクチャーとディスカッションを行います。アジアにおける今日的な問いとは何か？ 都市、あるいは地域の現状にどのように向きあうか？ そこから生まれる新しい美学、空間は何か？ — アジア建築設計の最前線を探ります。



西澤 俊理 Shunri Nishizawa

1980年東京生まれ。東京大学大学院終了後、安藤忠雄建築研究所スタッフ、ヴォ・チョン・ギア・アーキテクトのパートナーを経て、ベトナム・ホーチミン市で独立。2015年より NISHIZAWA ARCHITECTS を主宰。World Architecture Festival 等、数々の国際的な建築賞を受賞。

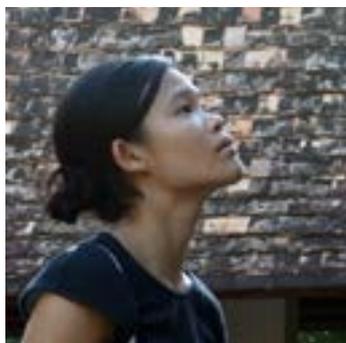
主な作品：チャウドックの住宅（2017）、ベントンのレストラン（2018）



百枝 優 Yu Momoeda

1983年長崎生まれ。九州芸術工科大学環境設計学科卒。横浜国立大学大学院修了。隈研吾建築都市設計事務所スタッフを経て、2014年に百枝優建築設計事務所を設立。SD レビュー、AR Emerging Architecture Award など、国内外で受賞多数。現在、九州大学芸術工学研究院非常勤講師。

主な作品：丘の礼拝堂（2016）、4家族のための葬祭場（2018）



ポーンパット・シリクルラタナ Pornpas Siricururatana

1985年バンコク生まれ。タイ政府派遣留学生として日本留学。東京大学大学院を修了後、タイ王国文化省現代文化局で建築家を勤める。2014年よりカセサート大学講師。現在、バンコクを拠点に設計を行うほか、美術雑誌「art4d」でゲストエディターを勤めるなど、多様な活動を展開する。

主な作品：ラチャダムヌン現代美術センター（2013）、999/84（2014）